

委員長

三重大学名誉教授

渡邊 悅爾

今回応募された活動はいずれも、将来のために意義深い、意欲的な社会貢献の活動だと評価される。特に若い世代の皆さんのが中部圏の未来を拓く地域づくりに熱心に取り組み、発展性のある活動を続けてこられたことに感銘を受けた。

副委員長

駿府静岡歴史楽会 事務局代表

竹内 礼子

皆さんの活動が身近にあるテーマを取り上げていることに親しみを感じました。大きな課題も身近なことから進めていけば解決や発展につながっていくことを理屈抜きに楽しむ姿が印象的でした。

委員

名古屋大学大学院教授

小松 尚

私たちに潤いと恵みを与えてくれる水辺や、慣習や固定観念を反転させた活動など、まちや社会に存在する地域資源を新鮮な目でとらえた各地の取り組みにエールを送り、今後の成果を再び共有できる時を楽しみにしています。

委員

名古屋工業大学教授

増田 理子

新型コロナウイルスのため、活動が制限される中、若い人たちの活動が活発に行われていることに大変心を動かされました。特に生物多様性の保全のための取り組み、空き家対策、流域治水などの新しい取り組みも多く、これからの中の発展が期待されます。

選考を終えて (表彰委員より)

委員

中日新聞社事業局次長

長坂 誠

地域を守りたい、未来へつなげたいという熱い思いだけでなく、次世代のリーダーが育つ活動となっていることに感動しました。より多くの人がつながり、豊かなまちづくりが活発になるSDGsの取り組みが、今後も長く継続されることを期待します。

委員

(一社)中部経済連合会常務理事

栗原 大介

未だコロナ禍が収束せず、人と人との直接的な繋がりが疎遠になりがちな状況下で、様々なアイディアを出し地域を盛り上げようと活動をされている各団体の熱い思いが伝わってきた。更に多くの人を巻き込み発展されることを期待しています。

委員

国土交通省中部地方整備局 企画部長

八尾 光洋

高校生らが積極的に地域の課題解決に参加する活動、次世代リーダー育成を意識した活動など若い世代が参加する取り組みが数多く見受けられました。将来を担う「若い力」が育ち、この地域の持続的な発展を支えていく原動力となることを期待します。



中部の未来創造大賞推進協議会

国土交通省中部地方整備局

長野県

岐阜県

静岡県

愛知県

三重県

静岡市

浜松市

名古屋市

中日本高速道路株式会社 名古屋支社

名古屋高速道路公社

独立行政法人
水資源機構 中部支社

地方共同法人
日本下水道事業団 東海総合事務所

独立行政法人
都市再生機構 中部支社

公益社団法人
土木学会 中部支部

一般社団法人
中部地域づくり協会

一般社団法人
日本建設業連合会 中部支部

一般社団法人
建設コンサルタント協会 中部支部

一般社団法人
長野県建設業協会

一般社団法人
岐阜県建設業協会

一般社団法人
静岡県建設業協会

一般社団法人
愛知県建設業協会

一般社団法人
三重県建設業協会

株式会社中日新聞社

後援／一般社団法人
中部経済連合会